

2023

10

新潟県拠点

情報かわら版

- 「NGT48農業プロジェクト」稲刈りイベント取材してきました！・・・P1
- 令和5年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量について・・・P2
- 令和5年産の水田における作付状況について・・・P2
- 講演会・イベントの開催のお知らせ・・・P3
- 「新規就農info」
就農希望者向けのフェイスブックがOPENしました！・・・P4

電子版はこちら 



「NGT48農業プロジェクト」

稲刈りイベントを取材してきました！

● 今年も「ときむすめ」(NGT48ブランド米)が収穫されました！

10月3日、今年で4年目となる稲刈りイベントが小越春花さん、清司麗菜さん、奈良未遥さん、北村優羽さんの4名のメンバーにより(株)越後新鮮組さんの田んぼ(1ha)で行われました。田植え以降も自分たちで溝切りや畦畔の草刈りも行い、ついにこの日を迎えました。

メンバーによる収穫作業とあわせて、田植えイベントと同じく「食育特別授業」として新発田市内の園児たち(わかば幼稚園70人)を招き、園児たちとの手刈り体験が行われました。

まずは、メンバーがコンバインに乗り込み収穫作業。農作業ベテランの小越さんは抜群の安定感！その他のメンバーも園児の声援を受けながら順調に作業を進めました。今年から新しくキャビン付きのコンバインになり、空調も効いて快適な作業だったようです。



稲刈り後、コンバインをバックに記念撮影
(左から、北村さん、奈良さん、小越さん、清司さん)

● メンバーも園児もみんな笑顔で手刈り体験

手刈り体験は、メンバーと園児たちがペアになり行われました。メンバーも手刈りでの稲刈り経験はなく、どちらもおぼつかない手つきながらも一生懸命1株ずつ稲刈鎌で刈取りました。メンバーの手つきに越後新選組の本間社長もハラハラドキドキ。農家さんのサポートのもと安全第一で行われました。園児からもメンバーからも笑顔があふれる素敵な手刈り体験会でした。



本間社長とメンバーから園児たちへ説明



園児たちとの手刈り体験(左写真:奈良さん、右写真:小越さん)



収穫を終えたメンバーからは、「これからも農業をPRして、新潟のお米がおいしいということを発信したい。」「子供たちへの食育は、新潟ならでは、今後も続けたい。」「ときむすめを食べて多くの人に幸せな気持ちになってもらいたい。」「初めての稲刈りだったが少しコツをつかめたので、来年に生かしたい。」などの感想が聞かれました。

事故なく一年の作業が終わったことに感謝し、来年も取り組むことを心に刻みながらこのイベントは終了しました。収穫した「ときむすめ」は、今年もスーパーでの販売や飲食店などでの提供が予定されています。

令和5年産水稻の作付面積及び

9月25日現在の予想収穫量について

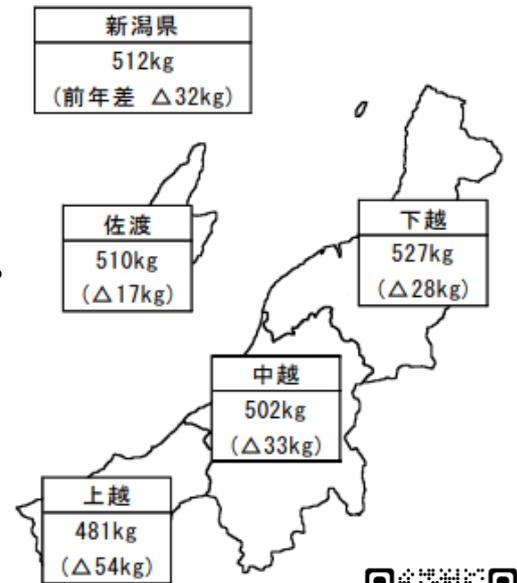
令和5年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量が10月13日に公表されました。

新潟県的水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は12万400haで、前年産に比べ700haの減少が見込まれます。

作柄は、5月下旬の低温、日照不足により、全もみ数（穂数×1穂あたりもみ数）は「やや少ない」となったものの、登熟は、7月下旬以降の高温多照や全もみ数が少なかったことによる補償作用により、「やや良」が見込まれます。一方で、記録的な高温少雨により収量基準を満たす玄米の減少が見込まれます。

このことから、10aあたり予想収量は512kg（前年産に比べ32kg減少）、農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は95が、それぞれ見込まれます。

新潟県の作柄表示地帯別
10aあたり予想収量（9月25日現在）
（1.70mmのふるい目幅ベース）



詳細は以下のURL又二次元バーコードからご確認ください。

<https://www.maff.go.jp/hokuriku/stat/data/230925.html>



令和5年産の水田における作付状況について

令和5年産の水田における作付状況（令和5年9月15日時点）が10月13日に公表されました。

全国の主食用米の作付面積は、令和4年産実績（125.1万ha）から0.9万ha減少し、124.2万haとなりました。

新潟県では、主食用米の作付面積が10万600ha（前年産9万9,900ha）となりました。WCS、麦などの作付面積も増加しています（WCS（前年比2割増）、麦（同5割増））。

農林水産省の支援策を活用しつつ、次期作以降も引き続き国内需要が見込まれる作物への作付けをご検討願います。

詳細は以下のURL又は右の二次元バーコードをご参照ください。

<https://www.maff.go.jp/hokuriku/news/press/seisan/231013.html>



講演会・イベントの開催のお知らせ

北陸農政局で開催予定の講演会・イベントをご案内します。
新潟からオンラインでも参加できますので、興味のある方はぜひご参加ください！

● 令和5年度農村RMO推進フォーラム

多様な人材・組織を生かした地域づくりを推進するために、外部人材を活用して組織づくりを行う方法や移住者が地域や組織で活躍するためのポイント、地域の関係者（組織・住民）が参画しやすい組織の在り方や一緒にがんばる仲間の集め方などを紹介します。

開催日時：令和5年10月24日（火曜日）13時30分～16時30分

開催方式：現地及びオンライン開催（Zoom）

申込締切：10月23日（月曜日）17時00分

詳細、申込は以下のURL又は右の二次元バーコードからご確認ください。

<https://www.maff.go.jp/hokuriku/news/press/nouson/231002.html>



● 食育ネットほくりく交流会

今回の交流会では、第7回食育活動表彰で農林水産大臣賞を受賞したコミュニティカフェ・カフェゴッコ（富山県）の代表の広野氏を招き、生産者と消費者の相互理解や交流、地元食材の消費拡大を踏まえた講演と、こだわりドレッシング作りの実演を行います。

開催日時：令和5年11月10日（金曜日）13時30分～15時30分

開催方式：現地及びオンライン開催（Teams）

申込締切：11月7日（火曜日）

詳細、申込は以下のURL又は右の二次元バーコードからご確認ください。

https://www.maff.go.jp/hokuriku/news/press/syouan/231006_30.html



● 北陸高収益サロン「園芸作物の生産者×実需者マッチング交流会」

農業経営に園芸作物を取り入れ有利な取引・販売に繋げている生産者、地域の園芸作物を取り扱っている実需者をパネリストとして招き、生産者の経営実例や実需者の取組発表、パネリストと参加者との意見交換を行います。

開催日時：令和5年11月16日（木曜日）14時00分～16時00分

開催方式：オンライン開催（Teams）

申込締切：11月10日（金曜日）17時00分

詳細、申込は以下のURL又は右の二次元バーコードからご確認ください。

<https://www.maff.go.jp/hokuriku/news/press/seisan/231006.html>



f 新規就農info

就農希望者向けのフェイスブックが OPENしました！

北陸農政局では、新規就農促進のため、フェイスブック「新規就農info」を開設しました。「新規就農info」では、先輩就農者へのインタビュー、研修機関の紹介、就農イベント等の最新ニュースなど、新規就農を目指す際に役立つ情報を掲載していく予定ですので、ご活用ください。



「新規就農info」は以下のURL又は右の二次元バーコードからご覧ください。

<https://www.facebook.com/people/%E6%96%B0%E8%A6%8F%E5%B0%B1%E8%BE%B2info/61550720195725/>



<編集後記>

皆さんこんにちは。新潟県拠点の齊藤です。

最近、市販のぬか漬けの素を使ったぬか漬けづくりがブチブームになっています。簡単なのに意外とおいしくできるのが驚きです。先日、上司に本格ぬか床で漬けたぬか漬けをいただきましたが、さすがにそちらにはかないませんでした（笑）。やはりぬか床が一番ですね。

今月も最後まで読んでいただきありがとうございました。



お問い合わせ

北陸農政局新潟県拠点では、「現場と農政を結ぶ」業務を通じて、地域の皆様にタイムリーに農政に関する情報をお伝えするとともに、農業現場の抱える課題や農政に対する意見をきめ細かに汲み上げ、各種施策につなげていくこととしています。

地域の農業者（地域の担い手や若手農業者、女性農業者など）の方の集まり等で、「農業施策の〇〇について聞きたい。」といったご要望がございましたら、直接伺ってご説明いたします。

ご遠慮なく、お気軽に下記へご連絡ください。

北陸農政局新潟県拠点地方参事官室

〒951-8035 新潟市中央区船場町2-3435-1

TEL 025-228-5216

ホームページ <https://www.maff.go.jp/hokuriku/nousei/niigata.html>

